



ありがとうメッセージ

- ・灸まん美術館様より、寄付をいただきました！今後のたんぽぽの活動、交流等の際に使用させていただきたいと思います。ありがとうございました！！
- ・クッキーの委託先の皆様、野菜の仕入れ先の皆様、本年も宜しく願いいたします。また、今後もよりクッキー等美味しく・安全に・新鮮に販売できるよう努めていきたいと考えています★

たんぽぽ掲示板

- ・日々のたんぽぽの出来事、ホームページでしか分からないこと等、たんぽぽについてはホームページにてお知らせしています！是非、ご覧下さい。（HP：<http://nposaja>）
- ・毎週水曜日、多度津ピーマンにて、焼き芋の販売を行っています。焼き芋食物繊維も豊富で子どもから大人まで親しまれているおやつです。冬季限定（3月中旬まで）のため、お早めにおこし下さいねえ！



全国精神障害者地域生活支援協議会 フォローアップ研修会 in かがわ報告！

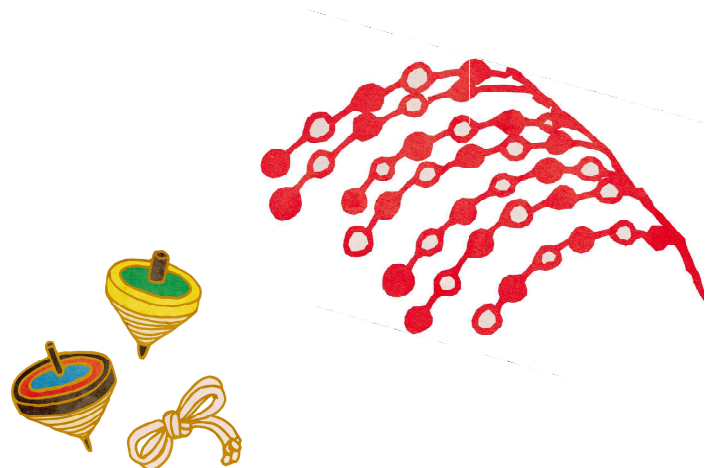
テーマ「縁・託す・任す・譲る・紡ぐ～」

2012年12月1日（土）、全国精神障害者地域生活支援協議会（あみ）主催にて上記研修会を開催しました。テーマが「縁」、また託す・任す・譲る・紡ぐということで、地域で様々な実践をされている講師の皆様より、私たちの活動が地域の資源となりそして地域に求められる資源となるまでの経緯や地域にどのような資源が現在必要とされているのか等の話がありました。各講師の話の中には共通点があり、「地域で福祉を展開していくと共に、その活動がまちづくりに繋がっている」「登場するメンバーが自由に人生の主役となっている」等です。

地域で活動すること、地域に必要とされること、地域の方々と私たちはお互いさまで相互関係にある等、地域の方々に理解してもらうためには時間を要し大変だと思います。しかしながら、私たちからも歩み寄らなければいけないということを感じ身気づけられた一日でした。私たち専門職は、メンバーや地域の方々に託し、任し、譲りながらそれぞれ環境や関係を紡いでいく役割であると考えます。

自主製品紹介

- ・ぽぽ洗剤 大 300円 小 100円
- ・クッキー 大 200円 小 100円
- ・ラングドシャ 100円
- ・手作りストラップ
- ・手作り布絵本
- ・手作りスモッグ
- ・手作り袋
- ・手作りヘアアクセサリー



編集後記

年が明けて早くも2週間が経ちました。少し前までお正月気分だったのですが、世間は通常の生活に戻られているかと思います。たんぽぽも1月4日から始動し、一人一人新たな想いで仕事を行っています！今年もLIFEを読んで下さっている読者の皆様、またたんぽぽの活動等で出会った皆様によりいっそうたんぽぽの情報をお伝えすることのできる「LIFE」でありたいと思います。今年も宜しくお願いいたします！



L i f e

第43号 2013. 1. 18発行
特定非営利活動法人SAJA
就労継続支援B型事業所 たんぽぽ
〒763-0066
丸亀市天満町1-2-31
TEL：0877-22-2840
HP <http://nposaja>

幸福の追求



特定非営利活動法人 SAJA
理事長 西谷 清美

新年明けましておめでとうございます。1年もどうぞ宜しくお願い致します。

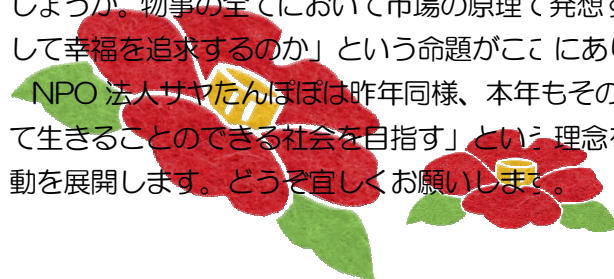
さて、ここでは新しい一年の始まりにあたり、「幸福」ということについて少しだけ考えてみたいと思います。戦後の日本と私達の日々の生活を振り返ってみてください。1960年代からの高度経済成長がもたらした自由や平等、そして幸福までもが市場の競争によって実現できるという新自由主義の思想は、その後の経済の低迷や格差社会と言われる社会状況に与った現在もなお、私達の生活の細部に大きな影響を与えています。分かりやすく言えば、個人の自由や利益追求が社会生活の上で最も優先され、個々が自由に自分の利益を追求し幸福を追求するのが近代社会であるとして、個々の多様な幸福追求を可能な限り平等な権利として保障することが求められているということです。これが現代の標準的な価値観、いわゆる市民権的世界の発想であり、それを代表する政治思潮が新自由主義です。

ところで、社会福祉にとつぷりと浸かって物事を発想するとき、果たして「幸福」はどのようにとらえられるのでしょうか。例えば、人とは親や家族、友人や知人とふれあい、住んでいる場所や地域社会が持つ文化的特性や慣習、共属感情の中で暮らすことを通じて生き方を学んでいく存在であると考えたとします。人はコミュニティという共同社会の中で他者とくわり、教育を受け、体験することによって価値観や世界観を身につけていくということです。そのように考えてみると、人は自分のことだけを考えるのではなく、常に共同社会の一員として他者との協働や相互支援による「幸福」を実現するという、社会権的世界の発想に至ります。

幸福を追求するという意味において、私達の「幸福」は今ここにはなく、言い換えれば現在「不幸」だということです。何かを変革しなければこのまま「不幸」が続くわけですから、私達は幸福を追求するために動き回ります。前述の新自由主義では、「幸福」であるためにはあくことなき「利益」と「権利」の追求が必要です。しかし、競争によって利益を得ることや市民としての権利を最大限に享受することに終わりはありません。無限に膨張させ続けるほかないです。この考え方は、決して人を幸福にはしないと思います。

地域社会(コミュニティ)の再生とは、かつての日本型村落社会を再び蘇らせることではありません。しかし、根こそぎ失くしたもののの中には、人が幸福であると感じるための大切なものが多々あったのではないのでしょうか。物事の全てにおいて市場の原理で発想する現代人となった私達にとって、「幸福とは何か、如何にして幸福を追求するのか」という命題がここに 있습니다。

NPO法人サヤたんぽぽは昨年同様、本年もその歩みを進めて参ります。「誰もが自分の人生の主人公として生きることのできる社会を目指す」という理念を大切にし、コミュニティの一員として共に連帯して活動を展開します。どうぞ宜しくお願いします。



製造班より報告！



製造班と販売班に別れて初めは戸惑いでしたが、月日が経つにつれてそれぞれのいろんな特技が身につく、今ではみんな楽しんで製造に取り組んでいます！

始めは弁当袋とか箸入れ、コップ入れ、上靴入れから作り始め、慣れてきたら、はスモッグと進んでいきました。ミシンをかける人、型をとる人、縫う人と一度は全部経験しながら最終的に自分のできることをそれぞれにしました。自分のできる事を見つけるまでいろいろ施行錯誤しながらそれぞれ担当を持ち、仕事をして作品ができあがりました。スモッグ等が完成した後は、また新たに動物のストラップ、シュシュ、アクリルたわし、フェルトのおもちゃ(布絵本、ボール、弁当箱等)に挑戦しました！

始めは「できん、できん」とか「無理」とか言っていた人も今は努力して作れるようになり、作品も売れています。それぞれに作りたいものを自由に作り、たまには息抜きに他の物を作ってみたり・・・休憩もしながら作っています。平成24年10月28日の城坤祭りでは動物のストラップが完売し、11月11日の城西祭り、11月18日子育てフェスタにおいてもほぼ完売でした。その時の喜びはひと潮です。みんなお客様のことを考えて子どもお母さんも喜ぶものと思い作ったので、買ってくれた事が励みとなり、それが私たち製造班の楽しみにも心のよりどころにもなり、技術的にも自然と上達できました！興味のある方は「POPO」においてあるので見て楽しんで下さい。

そして、私たち製造班はもう一つ別の作業もしています。それは「手作りクッキー」を作る仕事です。当番制でクッキー作りに3人ずつ入り、当番に入らない人がフェルトのおもちゃ作りをしています。クッキーは毎週月曜日、火曜日がクッキーの生地を焼く日で、木曜日、金曜日がクッキーの生地を練る日です。そして新商品開発部を設けて考案したのが「ラングドシャ」です。ラングドシャは一カ月に2回、水曜日に焼いています。クッキーは商品として売られお客様の口に入るものなので、清潔にすることを心がけて作っています。例えば、日常習慣的な身なり(お風呂に入る、シャンプーする、爪を切る、手を洗う等)とか、衛生的な(白衣を着る、マスクをする、バンダナを巻く、手袋をはく等)ことです。私たちは全部1から手作りで、生地を振り練ることから始まり、焼いて袋に入れ、リボンをかけるまで髪の毛一本入らない様全て粘着テープクリーナーかけて対処しています。

安全でかつ、美味しいものをお客様に届けられる様、日々努力してまいりますので、一度食べてみて下さい！！

製造班一同

上記製造班からの報告にもあったように、製造班は一週間とても忙しく仕事をこなしています。クッキーの製造が忙しいため、なかなか手芸の仕事ができず・・・手芸の仕事は癒されるといった声も聞いたことがあります。そのような多忙な中でもクッキーはお客様が食べられるものがあることや、おもちゃは子どもが遊ぶ物であること等1つ1つ考え想いを込めて作ってくれています。製造班方々、本当にいつもお疲れ様です！

今後も、たんぼぼではクッキー、手作り雑貨等の製造を行ってまいりますので、手にとって見てもらえると嬉しいです！
今回は、販売班からの報告です！



11/27 施設内研修～感染症対策について～

感染症の予防について香川県中讃保健福祉事務所保健対策第一課の谷本愛氏を招きメンバー・スタッフ合同研修会を行いました。内容としては、1. 今季気をつけたい感染症としてインフルエンザ、感染性胃腸炎(ノロウイルス)についての説明。2. 感染症を予防するために大切なことの確認。3. 手洗いの演習でした。数年前より毎年感染症が流行する前に研修をおこなっていますが、改めて感染症を防ぐためまた拡大させないために大切なことを学ぶ良い機会となりました。気をつけたい感染症では上記2点の他に結核の説明もありました。感染症を予防するために大切なこととしては、①しっかり手洗い・うがいをする②咳エチケットとしてのマスクの着用③こまめな換気をする④睡眠・食事に気をつけウイルスに勝つための抵抗力をつける⑤インフルエンザは予防接種をうける⑥仕事復帰の時期を考える(人に感染させるおそれのある期間は症状がでる前日から発症後5日間)という確認をしました。手洗いの演習では毎回普段洗えているつもりがそうではないことに気付かされます。事業所内と個人でできる対策があり意識改革できました。



12/13

たんぼぼ忘年会

たんぼぼ忘年会を行いました！これまでの忘年会と今回の忘年会の違うところは、「場所」です。なんと！！今回は、たんぼぼ近隣にある居酒屋にて行っています。メンバー、スタッフ総数21名が集まり、食めや食べやとあっという間の2時間半でした。



これまでたんぼぼの3階や食事に行くこともありましたが、居酒屋といういつもと違う場所は、気持ちを解放できる時間となり、いつもとは少し違った話を行ったりと、たんぼぼの結束力が高まったように感じます！その後も、「楽しかったな」「まだ行きたいな」「皆で飲み立てして行く？」等の声もあるようです。また、みんなで行けるといういいなと思います！

スタッフのつぶやき

最近、精神障害者の差別と偏見についてよく考えます。以前に比べて差別や偏見は軽減されたように感じますが、まだまだ根強く残っているように思います。私は、たんぼぼの活動を通して、差別や偏見の是正をしていきたいです。そのためには、地域に根付いた活動を行うこと、またたんぼぼの活動を多くの人に知ってもらうことで、少しは軽減出来るのではと考えます。

たんぼぼのキャッチフレーズにもある、『誰もが主役の地域社会を目指して』という言葉通り、私たち一人ひとりが主役です。誰もが排除されることのないような地域社会を目指していきたいと思えます。そのために今私ができること、それはメンバーの話を傾聴し、かかわる中で一人ひとりの人権を尊重することだと思います。誰もが認められたいという感情を持っているように人を認めることはとても大切なことです。その前提として、多くの人が自分自身に向き合い、差別心や偏見心と向き合うことができるようになれば、世の中の差別や偏見は少なくなるのではないのでしょうか。そのような日が来るのを願いながら、私たち専門職は差別や偏見を是正することができるよう日々の活動を通して啓発活動を行っていききたいと思います。